

デマ退治！美少女コンビ躍動

ひと Person & Readers 読者

漫画家

大和田 秀樹さん

「震災当初は明らかになテマに際どい皮肉の表現も織り交せています。『ふうの月刊漫画雑誌に掲載するには議論があったのでは。』

「震災当初は明らかになテマに際どい皮肉の表現も織り交せています。『ふうの月刊漫画雑誌に掲載するには議論があったのでは。』



線量知識身に付く作品 不安増幅歯止めかけける

震災後、多くの人の関心事となった放射線。しかし理解は難しく、正しく他に伝えるのはより難しいのが現実だ。不正確な情報で不安をおおる論者も少なくない。そうした中、漫画家の大和田秀樹さんは、美少女ヒロインが放射線に関するテマを退治していくというストーリーの『風評破壊天使ラブキユリ』を出版。随所にギャグを織り込みながら、放射線に関する知識もしつかり身に付く内容が話題となっている。執筆の背景と今後の活動について聞いた。

(海老 宏亮)

この人と1時間

最初は戦隊モノにするつもりだったのですが、それでは話が長くなってしまったが(笑)。

「発表後はネットで批判はありましたが、感情的なもので特に反論の必要はないと受け流しました。数字など事実関係の見解の相違を指摘されたら返り討ちにするつもりでしたが、そうした批判はこれまでのところ一件もないですね。モデルにした人たちからも正式な抗議はありません。彼らもテマを流している自覚があるのでしょうか」

——東京大学医学部の中川恵一准教授が監修を務めていますね。

「この作品以前には中川先生と面識はなかったのですが、最初にお願したときは怪しまれました(笑)。でも一話を描いて見せたところ、乗りの気になってもらって協力いただけるようになりました。早野龍吾先生(東大教授)をはじめ、放射線について正確な情報発信をされている方々はいいて、分かる人には分かる状況でした。そうした情報を漫画でよく分かりやすく説明し、誰でも理解しやすくなることを心がけました」

——どのような人に読んでもらいたいですか。

「漠然と不安を感じている人に読んでほしいと思います。テマを見破るのに一番良い手段は、情報の出所が確実なものか調べることです。例えば、学者の科学論文は批判的な視点から査読を経て発表されているものです。素人の不安をおおる言説が学者の理論より信用できるはずがありません。この作品、がやややな情報に振り回されない助けになればと思います」

——震災後のエネルギーを巡る議論についてどう思いますか。

「メーカーやエネルギー関係に就職した同級生が激しく、メーンにはない。安定供給は大切です。工学部で半導体の検定を行う実習を受けたとき、必要となる正弦波をコンセントから取ったことがあります。『飲める水道は日本だけ』とよくいいますが、商用電源からきれいな正弦波を取れる国はほかにありません。質の高い電気は優秀な技術者を生み出す土壌の一つになっているので、早期の正常化を期待しています」

——次回作の予定は。

「コミック以外の仕事でスケジュールが過密になっているので、当面新作は難しいです。でも、いずれはエネルギーをテマとした作品も描きたいです。中部電力の武豊火力発電所を見学するなどして、アイテマを練っているところです。笑いながらエネルギーを理解できる娯楽作品がいいですね。かわいいギャグが、シビリアン国際間エネルギー争奪戦を練り広げたり、カーチェイスもあたりして(笑)」

最初は戦隊モノにするつもりだったのですが、それでは話が長くなってしまったが(笑)。

「発表後はネットで批判はありましたが、感情的なもので特に反論の必要はないと受け流しました。数字など事実関係の見解の相違を指摘されたら返り討ちにするつもりでしたが、そうした批判はこれまでのところ一件もないですね。モデルにした人たちからも正式な抗議はありません。彼らもテマを流している自覚があるのでしょうか」

——東京大学医学部の中川恵一准教授が監修を務めていますね。

「この作品以前には中川先生と面識はなかったのですが、最初にお願したときは怪しまれました(笑)。でも一話を描いて見せたところ、乗りの気になってもらって協力いただけるようになりました。早野龍吾先生(東大教授)をはじめ、放射線について正確な情報発信をされている方々はいいて、分かる人には分かる状況でした。そうした情報を漫画でよく分かりやすく説明し、誰でも理解しやすくなることを心がけました」

——どのような人に読んでもらいたいですか。

「漠然と不安を感じている人に読んでほしいと思います。テマを見破るのに一番良い手段は、情報の出所が確実なものか調べることです。例えば、学者の科学論文は批判的な視点から査読を経て発表されているものです。素人の不安をおおる言説が学者の理論より信用できるはずがありません。この作品、がやややな情報に振り回されない助けになればと思います」

——震災後のエネルギーを巡る議論についてどう思いますか。

「メーカーやエネルギー関係に就職した同級生



すべてが電子化されている職場の様子

が激しく、メーンにはない。安定供給は大切です。工学部で半導体の検定を行う実習を受けたとき、必要となる正弦波をコンセントから取ったことがあります。『飲める水道は日本だけ』とよくいいますが、商用電源からきれいな正弦波を取れる国はほかにありません。質の高い電気は優秀な技術者を生み出す土壌の一つになっているので、早期の正常化を期待しています」

——次回作の予定は。

「コミック以外の仕事でスケジュールが過密になっているので、当面新作は難しいです。でも、いずれはエネルギーをテマとした作品も描きたいです。中部電力の武豊火力発電所を見学するなどして、アイテマを練っているところです。笑いながらエネルギーを理解できる娯楽作品がいいですね。かわいいギャグが、シビリアン国際間エネルギー争奪戦を練り広げたり、カーチェイスもあたりして(笑)」

は少なくないし、東北大の漫研時代に電気工事組合から仕事依頼を受けたこともあるくらいなので、関心は高いです。電気はインフラの基本です。執筆はすべてコンピュータ一化しているので、電気がないと死にます」

「仕事場に太陽光発電を入れましたが出力変動